

■地域脱炭素ネットワークイベント 参加事業者詳細情報

事業者名	株式会社日比谷アメニス
本社所在地	東京都港区三田4-7-27
業種	造園建設業
事業概要	公園・緑地等の施工管理、屋上・壁面・室内などの特殊環境緑化、公園・緑地等のメンテナンス、公園・スポーツ施設等における管理運営、バイオマス利活用に関する事業 等
事業活動エリア	日本
企業URL	https://www.amenis.co.jp/

地域づくりに貢献する「地域脱炭素」を通じて、実現したい社会像	有限な森林や剪定枝等の木質資源のバイオマスとしての有効活用に関して、技術的リスクが低く投資額も大きくなく、地域で実施可能な複数の水分管理（乾燥・保管）方法により、地域脱炭素に貢献することです。
得意とする脱炭素事業・再エネ事業の種類	木質バイオマス、木質燃料の乾燥・保管・水分計測、剪定枝の活用
自治体の脱炭素の目標や課題に対して提供可能なソリューション	<p>木質バイオマスをエネルギー利用するためには乾燥がとて重要となります。そこで弊社では、環境負荷の低い以下の3つの乾燥技術をご提案しています。</p> <p>①屋外乾燥（発酵熱）・保管 特殊な透湿防水シートにより、外側からの浸水を低減しつつ、内側からの発酵熱によって蒸発した水分を通し、乾燥を促進します。</p> <p>②太陽熱乾燥 太陽熱で暖められた空気を送風ファンによって木質チップに当てる乾燥方法であり、低ランニングコスト、低炭素排出量で乾燥を行います。</p> <p>③未利用熱乾燥 未利用となっている熱源（余剰の温泉水や焼却炉排熱等）から木質燃料の乾燥に適した温風をつくり、コンテナやヤード内にて乾燥を行います。</p>
自治体との連携実績	<p>東京都立公園において、園内から発生する剪定枝のエネルギー活用に取り組んでいます。具体的には、年間数十～100 t の剪定枝を園内にて木質チップ化し、太陽熱を用いた乾燥を行い、チップボイラで燃焼させることで、スポーツセンターの暖房及び給湯の熱源としています。効果としては、約8割の化石燃料代替を実施しています。</p> <p>この取組を行うに辺り、実施当初に東京都港湾局と社会実験としての協定書を結び、実施に至りました。</p> <p>参考：https://www.mlit.go.jp/toshi/park/content/001496959.pdf スライド No.6</p>